



特集

平成28年度 主要施策

## 闘志をたすきに託して

第61回山形県縦断駅伝競走大会が、4月27日から29日にかけて開催されました。寒河江・西村山チームには本町から清野大地さん、菊地春紀さん（写真左）、佐藤和也さん（写真右）、公平和輝さん、大沼翼さん、大泉真尋さんがエントリーし、大会1日目戸沢村古口中継所では、佐藤さんから菊地さんへのたすきリレーが実現。本町出身ランナーの活躍が光るレースとなりました。

平成28年

5

No.663

# 町づくりの

# アウトライン

## 平成28年度 主要施策

平成28年第3回大江町議会臨時会が4月26日に開かれ、政策的事業に係る経費を肉付けした平成28年度一般会計補正予算が審議・可決されました。今年度は昨年10月に策定した「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、雇用創出、定住促進、結婚・出産・子育てなどに対する支援を中心に、「地方創生」を目指す取り組みが本格的に始まります。3月定例会で渡邊町長が示した主要施策の概要とともに、今年度の町の主要事業についてお伝えします。



### 1 まちづくり関連

#### 若者の定住と活動を支援

定住促進のために昨年造成した藤田地区住宅団地は半数以上の区画が分譲済みとなっており、若い世代の定住が期待されます。早期完売に向け、今後ともPRに努めていきます。町内各区のアイデアを生かした活動を支援する集落活性化支援交付金について引き続き充実を図り、「地域おこし協力隊」は農業分野に新たに1名が加わって地域づくりを支援します。また、地域振興のための町

民の多彩な取り組みに対する新たな助成制度「未来へつなぐ元気活動支援補助金」を創設し、町全体の活性化に繋がる活動を支援していきます。旧きらやか銀行大江支店の活用については「みんなでまちづくり交流会」での検討内容を踏まえ、建物改修の設計に着手し、運営方法の検討を進め早期の完成を目指します。昨年オープンした山里交流館「やまさあーべ」は、初年度としては予想を上回る来館者数がありました。七軒地区の振興の拠点として、引き続き利活用への拡大に向けた取り組み

を支援します。

ふるさとまちづくり寄付については、特産物の組み合わせなどにより返礼品の種類を増やすなど、町民参加型の仕組みづくりを進め、特産品の一層のPRを推進していきます。駅前公有地の活用については、町民アンケートなどの意見を十分踏まえ、町の活性化に繋がる施設整備の具体的な検討を進めていきます。

### 2 農林・畜産業

#### 地鶏と山林資源を生かして

本町では高齢化などによる農業者

の減少などから耕作放棄地が増え続けていますが、今年度新設される農地利用最適化推進委員の活動を通して農地中間管理事業の積極的な活用により農地集積を進めていきます。また、就農研修生受入協議会「OSINの会」活動と連携し、農業に魅力を感じている若者やイターン者などの新規就農を支援するため、新規就農者支援住宅の建設や生活支援を進めていきます。

畜産の振興と町の新たな特産品化を目指して取り組んできた「やまがた地鶏」については、食鳥処理施設



▲昨年度の「やる気→元気活動支援事業」を活用して開催された「SHAKE LAB 2015」

### 3 商工労働・観光 産業のさらなる活性化を

の完成を受け、スムーズな運営開始に向けた準備をおこなうとともに、生産や鶏舎整備などへの補助事業を継続し、生産拡大と販路拡大に向け一体的に取り組んでいきます。

林業については、西山杉利活用推進コンソーシアムの活動を通して、町産西山杉を住宅用材として活用するため、林家・林業事業体・製材所などが協力して天然乾燥材の生産と貯木をおこなう仕組みづくりと、販売の推進を図っていきます。

また、昨年開催した全国山菜サミットを契機とし、山菜栽培技術の向上や新たな山菜料理・山菜の魅力などについて普及促進を図ります。

社員として新たに雇用する場合などに助成金を交付する制度を継続し、雇用の安定化に努めます。

工業については、産業立地促進資金貸付金による支援を継続するとともに、藤田地区への新たな工業用地の整備計画の策定と事業着手に向けて取り組みを進めていきます。

商業に関しては、企業や新商品開発などへの補助事業を継続するほか、中心商店街の活性化や6次産業化の推進についても支援します。また、資格技能取得にかかる経費への支援も継続します。

観光は多くの分野に対して波及効果を与えることから、地域経済にとって重要視される産業基盤のひとつです。本町では第8回やまがた景観賞の最高賞に輝いた「水郷大江夏まつり大会」をはじめ、年間を通して

### 4 道路・水道 生活基盤の早期整備・復旧

て数多くのイベントを実施してきます。今年度は、昨年度初めて実施した柳川温泉雪まつりでの「冬花火」イベントの拡充など、新規の企画の導入を図り、さらなる誘客拡大に努めます。広域的な観光の取り組みとして、西村山管内1市4町で組織する「山形どまんなか探訪プロジェクト」によって「やまがた雪フェスティバル」の開催などに取り組んでおり、引き続き連携して事業を展開します。

本町の道路整備の最重要課題である主要地方道大江西川線は、貫見く沢口間の事業が開始され、今年度は橋梁2橋と前後の道路整備工事が完了し、一部区間の供用が開始されるほか、新たな橋梁工事に着手する予定です。

左沢高校から小見方面に至る町道藤田堂屋敷線は、昨年度に町道西原藤田山線までの施工をおこなっており、引き続き早期の完成を目指していきます。

平成25年7月の豪雨災害による公共土木施設災害復旧については、62カ所の被災箇所のうち、昨年度までに57カ所が復旧しました。町道古寺



▲富沢地区に完成した大江町やまがた地鶏食鳥処理施設

神通峡線の遊歩道区間内の残る5カ所も降雪期前までに復旧する見通しです。県の災害復旧事業についても、特に被害の大きかった荻野地区と貫見地区が早期に復旧されるよう引き続き要望していきます。

合併処理浄化槽設置事業については、平成27年度末までに621基を補助対象事業として整備し、補助金の増額を含め設置率向上に向けて取り組んできました。今後とも広く加入の推進に努めていきます。

水道事業については、これまで簡易水道だった用、黒森、道海の3地区を今年度より上水道区域に統合し、

水道事業会計に一本化します。これを機に一層の経営健全化に努め、良質で安定した水道水を供給します。

## 5 福祉・子育て・医療

### 切れ目のない子育て支援を

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦の世帯が増加している状況から、雪下ろし・玄関除雪などへの支援を継続し、地域の方々の協力のもと日常的な見守りを進めます。また、住宅と医療機関などとの間の送迎をおこなう寝たきり高齢者移送サービスを開始するほか、ひとり暮らし高齢者の緊急通報体制の整備や、見守り付



▲わかば保育園入園式の様子

き配食サービス事業を継続し、高齢者が安心して生活できるサービスの充実を図ります。

介護保険事業については、今後とも利用者のニーズに応えるサービスの提供と健全な事業運営に努めます。また、介護予防事業の制度改正に伴って要支援認定者の訪問介護と通所介護を介護予防・日常生活支援総合事業に移行して実施し、より一層介護予防を充実させていきます。

子育てについては、出生時に支給する「すくすく出生祝金」を今年度から増額するほか、3人目以降のお子さんが幼稚園や保育所に入所した場合の保育料については、「いきいき子育て支援事業」を拡充し全額補助します。認可外保育所へ同時入所した場合の負担を軽減する「すこやか保育事業」などを実施し、妊娠・出産期からの切れ目のない子育て支援をおこないます。子どもの医療費に関しても、山形県医療給付制度と併せ、制度の対象とならない小学4年生から中学3年生までの外来にかかる医療費の自己負担分を町が負担することに加え、医療費の無料化を高校生まで拡大することを検討していきます。

放課後児童健全育成事業について

は、放課後児童クラブ送迎支援を継続し、本郷東小学校付近に新たに放課後児童クラブを整備します。

町立保育園については、わかば保育園に統合することとし、屋外での遊び場なども広く確保して、自然に囲まれ保育環境の整った子育ての拠点施設となるよう用地の取得などに着手します。

国民健康保険については、平成30年度から財政運営の責任主体を都道府県に移管することなどを定めた国民健康保険法などの改正法が昨年5月に成立したことを受け、今年度は国が示した運営方針などのガイドラインを基に、具体的な課題を検討していきます。

## 6 教育

### 新しい「学び」の拠点が完成

学校教育の振興では、他者との関わりを通して互いの存在を尊重し、互いに高め合うことをめざす共生教育を積極的に推進していきます。また、国際理解教育の一環として3年目となる中学生海外派遣事業では、渡航先であるアメリカ合衆国の同じ中学生との交流などを充実していきます。

学習環境の整備の面では、中学校



▲7月オープンに向けて工事が進む中央公民館

教科書の改訂年度となることから、デジタル教科書や電子黒板を整備します。スクールバスの運行については、これまでの一般市民の利用の部分を町営バスとして分離し、各小学校に1台、大江中学校に2台を配置し、安全に配慮しながら運行します。中央公民館の改築工事は順調に進んでおり、7月の供用開始を目指します。併設する図書館については、



▲地域住民の防災意識を高める総合防災訓練

学習に役立つ資料・情報の提供、学習の機会や場を提供する施設として、町民から長く愛される、居心地のいい図書館にしていきます。また、これを契機に生涯学習講座をリニューアルし、知識を深め、心豊かな人生を送るための学びの場、仲間づくりの場として新たに町民大学を開講します。

重要文化的景観については、昨年度に重要な構成要素に指定した原町通りの指定家屋の保存補修をおこない、最上川舟運の繁栄がしのばれる町並みの保存を図っていきます。

左沢楯山城跡保存整備事業では、駐車場の整備が完了し、今年度は散策路や案内看板などの整備に向けた計画策定と発掘調査をおこない、地域のイメージアップを図っていきます。

7 危機管理対策  
情報伝達と防災体制の確立

万が一の災害に対する危機管理体制の強化として、最優先に防災行政無線の整備を進め、全町民に正確な情報を迅速に伝達する手段を確立します。平成28年度は工事に着手するとともに、運用体制の構築に取り組み、平成29年4月の運用開始を目指します。

消防団については、4月に女性消防隊が発足しました。消防団の新たな力として女性目線での活躍が期待されます。

2月8日に宮城県亘理町と、災害時における相互応援協定を締結しました。協定に基づく応援が円滑におこなわれるよう平常時からの交流促進・情報共有をおこないます。また、災害に備えて生活用品や食料品などの備蓄をおこない、指定避難所への備蓄倉庫の整備を順次進めていきます。

## 今年度の主な事業

事業名	事業概要	予算額	事業名	事業概要	予算額
庁舎エレベーター整備事業	役場庁舎へのエレベーター設置に向けた設計業務委託	450万円	放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブ新築工事、放課後児童クラブ委託など	6,464万円
地域おこし協力隊活動事業	地域活性化のための地域おこし協力隊活動費	1,438万円	さわやか健康づくり推進事業	40歳以上の町民を対象に温泉施設の利用補助	759万円
集落活性化支援交付金事業	各集落への活動交付金	900万円	合併処理浄化槽設置補助事業	合併処理浄化槽設置に対する補助	1,840万円
景観形成事業	生垣、屋根など優良景観形成に対する補助	327万円	新規就農者用住宅建設事業	大江町型住宅による新規就農者用住宅建設	2,398万円
定住促進対策事業	空き家利活用促進補助金、住宅団地等入居特典など	684万円	やまがた地鶏振興事業	生産、販売などに対する補助など	905万円
地域公共交通運行事業	デマンド型タクシー運行業務委託、町営バス運行業務委託など	2,202万円	道路新設改良事業	町道藤田堂屋敷線など	1億7,460万円
地域除雪活動支援事業	地域除雪活動支援事業委託など	72万円	住宅建築奨励事業	住宅建築・増改築に対する補助	603万円
未来へつなぐ元氣活動支援事業	地域づくり活動等に対する補助金など	453万円	防災行政無線整備事業	防災行政無線整備工事など	3億7,986万円
ふるさとまちづくり寄付促進事業	寄付返礼品費、啓発促進経費など	986万円	教育活動推進事業	中学生海外派遣事業など	2,823万円
子育て支援医療費	中学3年生までの医療費を無料化	3,025万円	中央公民館改築事業	改築工事、備品購入など	3億3,082万円
子育て支援事業	いきいき子育て支援事業、すくすく出生祝金など	1,000万円	文化的景観保護推進事業	重要文化的景観修繕工事など	2,708万円
保育所整備事業	町立保育園整備の設計業務委託など	2,771万円	生涯スポーツ振興事業	総合型スポーツクラブ運営補助など	326万円



▲今年度から委員を務める齋藤勝彦さん(右)と林俊一さん(左)



▲昨年度まで委員を務めた佐藤廣子さん(左)と鈴木修一さん(右)

## ■困った時にご相談ください ～人権擁護委員委嘱状交付～

人権擁護委員として町民の人権の保護に尽力された佐藤廣子さん(13区)と鈴木修一さん(月が丘)が、今年3月で委員の任期を満了しました。3期9年間にわたって委員を務められた佐藤さんに法務大臣から、1期3年間務められた鈴木さんに山形地方法務局長からそれぞれ感謝状が贈られました。

今年度からは齋藤勝彦さん(用)と林俊一さん(葛沢)が新たに人権擁護委員を務められることになり、山形地方法務局寒河江支局長から委嘱状が手渡されました。今年度は堀永敏さん(富沢)、庄司百合子さん(藤田)とともに、町民の皆さんの人権を守るため人権相談や啓発活動に携わっていただくこととなります。

人権擁護委員は、家族間のいざこざや虐待、遺産相続、いじめ問題など、人権に関するさまざまな悩みやトラブルについて相談をお受けします。町の人権相談は、原則として毎月第1月曜日におこなっています。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

※お問い合わせは、税務町民課戸籍年金係  
☎62-2113まで

# 議会

town council

## 第3回臨時会

4月26日に開かれた平成28年第3回大江町議会臨時会の冒頭で、渡邊町長と富樫教育長より行政報告がありましたのでご紹介します。

### 行政報告

#### 保育園児の事故について

4月22日、わかば保育園の5歳児の園児が鉄棒で逆上がりをしようとして地面に落下し、右手を強打しました。すぐに応急処置をして受診した結果、上腕骨顆上骨折で全治1カ月半の診断を受け、ギブスの処置を受けました。

保育中の事故であり、保護者および本人にお詫び申し上げますとともに、今後とも事故には十分注意して保育にあたっていきます。

#### 新しい中央公民館の開館について

新しい中央公民館については、7月1日に教育委員会事務室を現在の仮事務所から移動し、祝日である7

月18日には開館イベントをおこないたいと考えています。

また、愛称を3月に募集したところ、幅広い年齢層から計95点の応募があり、社会教育委員会議の厳正な選考を経て、町内在住の嶋田康介さんから応募いただいた「ぶくらす」を採用しました。この名称には「ぶくちゃん」の愛称で知られるヤマガタダイカイギウのように皆さんに愛される施設になってほしい、利用者の学び舎、クラスルーム(教室)であってほしい、暮らしに彩りをプラスできる場所であってほしい、などの願いが込められています。

### 補正予算

平成28年度大江町一般会計予算について、歳入歳出のそれぞれに6億6450万円を追加し、予算総額を51億8850万円とする補正予算案が提出されました。

これに対して、町立保育園の統合に伴うわかば保育園の改修などを盛り込んだ保育所整備事業について、議員から修正動議が提出されました。採決の結果、修正動議は反対多数で否決され、一般会計補正予算は賛成多数で原案どおり可決されました。

平成  
28年度

# 大江町消防団 春季消防演習



▲小型ポンプ操法



▲自動車ポンプ操法



▲今年発足した女性消防隊の皆さん（左から）高橋真奈美、佐藤幸、室岡育子、伊藤舞香、金山高子、伊藤明美、菊地春香、松田澄子、鈴木佐保里（敬称略）



▲分列行進



▲一斉放水



▲幼年消防クラブ

平成28年度の大江町消防団春季消防演習が、4月24日に実施されました。会場となった左沢小学校グラウンドでは消防団員による消防操法や幼年消防クラブによる訓練がおこなわれ、左沢内町・横町通りでは、一斉放水訓練と分列行進が披露されました。

演習終了後には、東地区公民館において消防活動に功績があった方々が表彰されました。

◎優良章／佐藤勇一、工藤和明、渡邊

### 山形県消防協会会長表彰

◎功績章／林善昭

◎功績章／大泉雅裕

### 日本消防協会会長表彰

和弘、蓮沼徹、村上勇

◎精錬章／鈴木孝仁、松田敏典、佐藤

人、佐竹辰也

◎功績章／関根修、柏倉生一、小野真

拓朗

◎功労章／庄司隆弘、庄司信也、菊地

◎金条章／第3分団第1部

◎特別功労章／安食幸治、伊藤武敏

◎永年勤続退団者／鈴木文雄、菊地邦

弘、柏倉正広、菊地俊次、漆畑諭

### 山形県知事表彰

志、庄司武

◎永年勤続退団者／鈴木文雄、菊地邦

弘、柏倉正広、菊地俊次、漆畑諭、菊

地俊一、庄司哲哉、渡邊哲男、公平和

### 消防庁長官表彰

◎永年勤続15年／菊地誠、安孫子博司、

伊藤真一、楠ヶ谷朋秋、佐藤徳昭、

五十嵐稔、林利憲

◎優良団員／佐藤勇輔、松田章、高橋

実、佐藤元一、佐藤裕和、佐藤大相、

伊藤哲朗、五十嵐満、鈴木裕也、木村

淳一、庄司知憲、池田朋治、鈴木康之、

伊藤陽介、宇津江由明、奥平彰

◎優良団員／鴨田圭太、坂本晋也、鈴

木俊一、阿部太一、渡邊大介、板坂英

樹、橋本清宣、鈴木喜一、阿部達也、

石坂康平



▲表彰式の様子

### 大江町消防団長表彰

◎優良機関／第1分団第1部、第4分

団第1部（敬称略）

◎内助の功労者／安食江麗嘉、伊藤明

美、岡田恵子

### 大江町長感謝状

◎功績章／大泉雅裕

◎功績章／林善昭

◎功績章／大泉雅裕

和弘、蓮沼徹、村上勇

◎精錬章／鈴木孝仁、松田敏典、佐藤

人、佐竹辰也

◎功績章／関根修、柏倉生一、小野真

拓朗

◎功労章／庄司隆弘、庄司信也、菊地

◎金条章／第3分団第1部

◎特別功労章／安食幸治、伊藤武敏

◎永年勤続退団者／鈴木文雄、菊地邦

弘、柏倉正広、菊地俊次、漆畑諭

◎永年勤続退団者／鈴木文雄、菊地邦

弘、柏倉正広、菊地俊次、漆畑諭、菊

地俊一、庄司哲哉、渡邊哲男、公平和

◎永年勤続15年／菊地誠、安孫子博司、

伊藤真一、楠ヶ谷朋秋、佐藤徳昭、

五十嵐稔、林利憲

◎優良団員／佐藤勇輔、松田章、高橋

実、佐藤元一、佐藤裕和、佐藤大相、

伊藤哲朗、五十嵐満、鈴木裕也、木村

淳一、庄司知憲、池田朋治、鈴木康之、

伊藤陽介、宇津江由明、奥平彰

◎優良団員／鴨田圭太、坂本晋也、鈴

木俊一、阿部太一、渡邊大介、板坂英

樹、橋本清宣、鈴木喜一、阿部達也、

石坂康平

2015

# 大江の景観 フォトコンテスト



## 「収穫の秋」 安孫子英男（藤田）

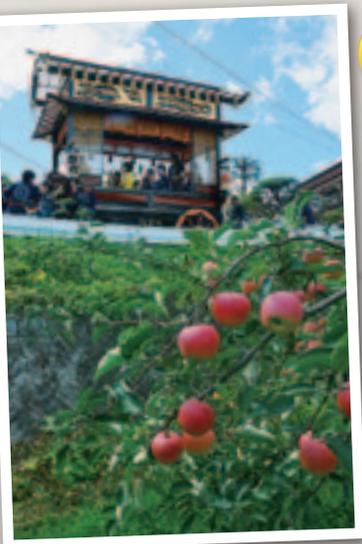
秋になればおそらくあちこちで見られる作業風景が、画面全体のオレンジ色が光と影のグラデーションでこの季節ならではの厚みのある風景として、圧倒的な迫力で表現されています。

## あなたの一押し風景部門

金賞

「晴れの日」

細谷敏行（10区）



## 部門賞 「1100年の巨樹」

佐竹吉廣（寒河江市）

大江にはおそらく数えられないほどの木が生えていて、それらは我々人間の年月を遥かに凌駕する歴史の蓄積を持っているのでしょうか。そんな迫力を太い幹回りから建物をも飲みこまばかりの力強さで捉えています。

町の景観に対する興味関心を高めるための「大江の景観フォトコンテスト」が開催され、応募作品の中から大賞1点、各部門から部門賞、金賞、銀賞が1点ずつ、奨励賞9点が選ばれました。その中で、銀賞以上を受賞した作品を志村直愛審査委員長（東北芸術工科大学教授）のコメントとともにご紹介します。（敬称略）



銀賞

## 「世界平和の願い」

佐竹吉廣（寒河江市）

# 探訪大江町部門



**金賞** 「湯ートピア」 高嶋祥太 (東根市)



**部門賞** 「秋祭りのひととき」  
芳賀長悦 (寒河江市)

文化的景観を代表する建築物が写った作品の数少ない1点です。しかも祭りの山車の足元から、まるで子どもの目線のように低い姿勢で見上げた、日常目線ながら迫力ある店の造りの表現は実に斬新な印象です。



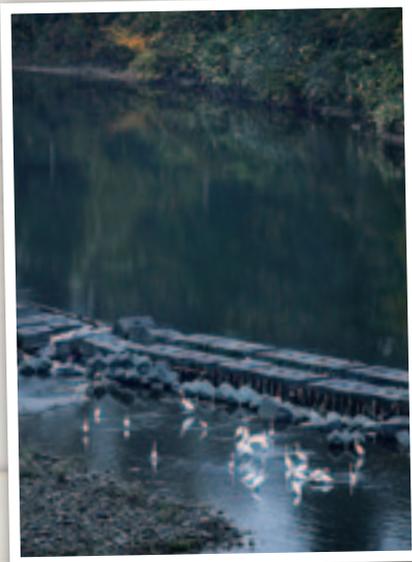
**銀賞** 「リバーサイド」  
大場直寛 (河北町)

# いつもの大江町部門



**部門賞** 「ないしょ話」 細谷敏行 (10区)

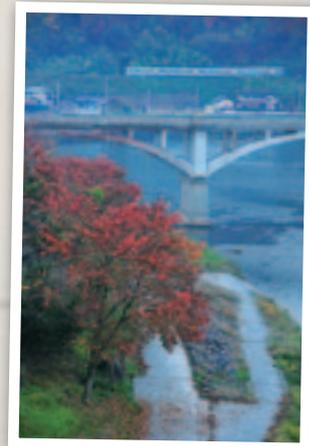
いつもの大江町部門は、地元の視点で人物にぐっと寄り添った作品が輝いていました。特にこの1枚はお揃いの祭りの法被姿で何気なく寄り添う二人を、いつもの優しいまちなかの風景の中に存在感豊かに描けており好感が持てました。



**金賞** 「憩いの水場」  
安孫子英男 (藤田)

**銀賞**

「秋の大江」  
菅蒲智也 (寒河江市)



**奨励賞**  
(敬称略)

- 芳賀 和代 (寒河江市) 3作品
- 小西 輝雄 (山形市)
- 海野 健治 (5区)
- 伊藤早弥花 (寒河江市)
- 佐竹 吉廣 (寒河江市)
- 布川 貞雄 (寒河江市)
- 大場 直寛 (河北町)





## 4/11 交通事故ゼロの誓い新たに

新年度を迎え道路の交通量も増加する中、町の交通安全祈願祭が4月11日に左沢八幡神社で開催されました。この祈願祭には、日頃町の交通安全のために活動している方々や、町内の各種団体の代表者などが出席。交通安全連絡協議会の古城紀夫会長（望山）が、7,020名の町民の皆さんが署名した「交通安全宣誓署名簿」を奉納し、渡邊町長ら関係者が玉串を捧げました。

そして交通安全母の会の林伸子会長（上北山）が力強く決意表明をおこない、出席者も事故のない安全な町づくりへの決意を新たにしました。



## 4/8 先輩の歌声に迎えられて

子どもたちの新生活のスタートとなる入学式が、4月8日に町内の小中学校でおこなわれました。このうち大江中学校では、この春小学校を卒業した58名の新1年生が入学。全校生徒は204名となり、新年度の学校生活が始まります。

式では2・3年生が「大地讃頌」を合唱して新入生を歓迎。新入生代表の駒林徹大さん（4区）は「中学生としての自覚を持ち、自分の進む道は自分で決められるようになりたいです」と、これから始まる中学校生活への意気込みを力強く述べました。



## 4/16 初めての書道 一筆に集中

町内の小学生を対象とする平成28年度少年少女書道教室の開講式が、4月16日に旧本郷西小学校で開かれました。この教室では清野昭一郎さん（十八才）をはじめ20名の方々が指導にあたり、3年生から6年生まで合わせて69名の児童が、これから1年間書道を学んでいきます。

開講式の後には、さっそく第1回目の教室がおこなわれました。初めて書道を体験する3年生は、道具の名前や筆の持ち方、線の書き方などの基本について学習。先生方のアドバイスを受けながら、真剣な表情で練習に励んでいました。



## 4/20 右見て、左見て、車は来ないかな？

道路の安全な歩き方や自転車の乗り方を学ぶ交通教室が、4月20日に本郷東小学校でおこなわれました。指導にあたったのは、町の交通安全専門指導員と3名の交通指導員の方々です。2年生以上の児童は、路上での正しい自転車の乗り方や道路の横断方法を学習。今年入学したばかりの1年生も、学校の近くの道路を実際に歩行し、しっかり左右確認をして道路を渡りました。

安全な自転車の乗り方を学んだ2年生の児童は、「これからも、道路を横断するときはしっかり止まるようにしたいです」と話していました。



## 4/21 フィットネスでいきいき健康づくり!

大江スポーツクラブ「オー・ステップ」の平成28年度の活動が各教室で始まり、4月21日には昼と夜の2回にわたってフィットネス教室が開催されました。この日は健康運動指導士の指導により、トレーニング器具やボールを使った運動、そしてマットの上で体幹を鍛えるトレーニングをおこない、参加者は心地良い汗を流していました。

オー・ステップではスポーツを通じて仲間づくりや生きがいづくりができるよう、今年度も12種類の教室を開催しています。無料体験もできますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



## 4/22 風に回る手作り小物

子育て支援センターの催しのひとつである「ママ手作り講座」が、4月22日に開かれました。この講座は、未就園の子どもを持つ保護者の皆さんに、手作りの工作などを通じてリフレッシュしてもらおうと開催されているものです。

この日は色紙を切り貼りして、アニメのキャラクターをかたどった手作りの部屋飾りを製作。天井などに吊るすと、風でくるくると回るようになっていきます。完成したカラフルなオブジェに子どもたちも目を輝かせ、参加者は「家でも作ってみたいです」と話していました。



## 4/26 みんなで楽しくストレス「快笑」

正しい食生活の普及のため各種活動に取り組む食生活改善推進協議会の総会が、4月26日に保健センターでおこなわれました。現在の会員数は73名で、総会では今年度も料理教室や健康教室などの活動を通じて町民の健康づくりを推進していくことを確認しました。

総会の後には、カウンセラーの我妻淳一さんによる「健康寿命は笑いが一番」と題した講演が開かれました。講演で笑いを交えた体操なども体験した参加者は「楽しくてあっという間に時間が過ぎました」と、笑いの効果を実感した様子でした。



## 4/23 町の魅力 大江中生が東京でPR

大江中学校3年生の修学旅行が、4月21日から23日にかけて東京方面で実施されました。

最終日には、本町の魅力を東京の人たちにPRする活動が初めておこなわれ、生徒たちは都内各所でパンフレットを配布して町の景観や特産品、イベントなどを紹介。その後、上野公園で校歌や最上川舟唄などを全員で合唱し、たくさんの人が足を止めて歌声に聴き入っていました。

生徒たちの活動に対して「大江中学校の皆さんから感動と元気、勇気を頂きました」といった感想が、メールやはがきで多数寄せられました。

一粒の雨の重さや大きさはどれほどなのだろうか、雪は形が見えるけれど雨は見えない。「百川衆沢そくぞく」が大江町名由来の故事だと聞くと、川も沢も天から落ちてくる「雨」なかりせば、流れ落ちることはない。一滴の雨には、土に入り込むもの、表土を走るもの、色々ではあるが、鉛筆一本ほどの流れから小川になって沢になり、川と合わさって海にたどり着くのである。途中で、天日にさらされ天に昇るものもあるであろうし、「一粒の雨」が大海にゴールできるのは見事というべきか、それにしても確率はどれくらいなのであるか。日本海に向かって、「おい、大江町生まれの一粒の雨ちゃん、どこにいるか教えてくれー」。海は広くて大きい。

海に届くまで、届いてからも、「一粒の雨ちゃん」には「合流」の二文字の試験が待ち構えている。「おまえは誰だ。どっから来たんだ。山の香りだな……」混ざり合い、溶け合いながら、流れが急でも緩やかでも、数十メートルも落下する滝でさえ、滝壺ではまた元のように、最上川や日本海のように、見事な集団形成を果たしてしまう。実に「さらさら」と水の流れるようにだ。

識者は教えている。「大根は真つ二つに切れるけど、水は切れない。民心また同じ、『関心』と『方法』を完全に同一化できない。『合流』の便法こそ、民主主義の原義であろう」と。「一粒の雨ちゃん」から学ぶこともまた多い。

大江町長 渡邊 兵吾

## 左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.32

法界寺は、近世左沢の街並みの北端に位置する浄土宗の寺院です。江戸時代に左沢を領した松山藩の菩提寺として、慶安元年（1648年）に開かれました。寺の境内は左沢駅前通りに沿っており、その中央に建つ本堂は入母屋造の大屋根を載せた構えとなっています（写真上）。江戸時代の建築と推定されていますが、屋根葺き材などは新しいものに替えられています。漆喰壁に火頭窓などの伝統意匠を加えた構えや、周囲の豊かな植栽の間から見える境内の風景が、町場の中心部にふさわしい風格を漂わせています。

左沢五差路の中心付近という、人々の目に留まりやすい場所に位置する山門は、昭和初期に建てられたものです（写真下）。境内の広さと比べるとさほど大きくはないものの、銅板の切妻屋根に掲げられた山号の扁額が、目を引くデザインとなっています。

### 法界寺



### 短歌

異国に住む孫懐妊の吉報に歓喜感涙安産祈る

菅井 妙子

歩道にて桜の花の美しき風に舞い散る我が身の肩に

松田 靄

幾たびの地震に耐える人々の心の傷の痛み感じて

長岡かつ子

還暦になったとメールあり都会暮らしの末の弟

山家 重之

髪なども染めることなく牛飼いき老いて今書とペンあればよし

菊地つねよ

畦径に咲くやタンポポ空見上げ上に下へと蝶群遊ぶ

佐竹 與鼓

パトカーと救急車の音遠くよりかなしく聞こゆ春のひとつき

斎藤 徳治

### 俳句

咲き誇る紅梅白蓮風薫る

菅井 妙子

畑仕事春日日和に背を押され

鴨田富士夫

菜の花や遠山は白空は碧

今井 茂樹

高速道しんろを北へ桜狩

阿部 一風

山里の暮るるまで咲く花辛夷

松田 靄

青竹を遠景にして梅白し

山家 重之

春の雨逝き人偲ぶ高野楨

清野今日子

団欒の窓を開けば暖かや

熊谷 勉

初に食ふ小さき恋人さくらんぼ

舟山 三男

煮こぼれを丹念に拭き日の永し

伊藤 啓泉

吟遊浪漫  
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



# Youthful トーク

天童市の自動車部品工場に勤務して6年目となる川村さん。部品を製造する過程での品質保証を担当しています。発注を受けて技術部門が試作した部品を検査し、発注者の要求を満たす製品を製造できるようにする重要な役割です。

「お客様からは、さまざまなご意見を頂いています。満足していただける製品を作るのは、とても大変なことですね」

町の小学校陸上大会で100メートル走の新記録を打ち立てたという川村さん。スポーツ少年団ではサッカーに打ち込み、現在でも休みが合えばモンテディオ山形の試合の応援に出かけるなど、サッカーへの情熱は今なお続いています。

「私たちの工場では、エンジンの部品など自動車の基礎となる部分を作っています。お客様であるメーカーから『OK』が出たときは、達成感がありますね」

より安全で快適な自動車を作るために、欠かせない存在である川村さん。今後も活躍が期待されます。

川村 俊介さん (24歳・11区)

## 自動車作りの基礎を担う

# 地域おこし協力隊通信

No.22



秋山 雛菜 さん

☆年齢：19歳

☆出身地：埼玉県秩父市

皆さんこんにちは！

4月から地域おこし協力隊員となりました、秋山雛菜です。

大江町は、私の地元の埼玉県秩父市と似て山に囲まれた盆地ですが、最上川のような大きな川や月山のように常に白い山が見えるというところが違い、美しい景色に呼ばれて来た気がします。

大江町に来てまだ2週間ほどですが、たくさんの発見をしました。山形ではほぼ毎日風が強く、天気も変わりやすいというところや、私の地元ではお昼のチャイムと夕方のチャイムがいつも流れていたのに大江町では流れていないところや、お店なども少ないということにも驚きました。

毎日一つは新しい発見をしています、まだまだ大江町について知らないことばかりなので、大江町の自慢できることや大江町の好きなところなどがありましたらぜひ教えてください！

地元の方々から見た大江町にもとても興味があります！

たくさん知って、それをより多くの人にも知ってもらえるようにPR活動も頑張りたいと思います。



↑新規就農研修生の皆さんと



↑桃の花の摘壺作業中

# お知らせ

## Information

### 行政相談委員にご相談ください

行政相談委員は、国の行政機関、独立行政法人、特殊法人など、いわゆる役所の業務への苦情、要望・意見などの相談を住民の皆さんより受け付け、相手機関との間に立って、相手機関の自主的な改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

行政について困っていることなどがありましたら、お気軽にご相談ください。相談日は原則として毎月第1水曜日です。相談日の日程はくらしのカレンダーでご確認ください。  
※お問い合わせは、税務町民課戸籍年金係 ☎(62)2113まで

### 1日人間ドック、ミニドック (総合健診)をぜひ受けましょう！

生活習慣病は、自覚症状がなく進行します。放っておけば、大きな病気につながる恐れがあります。自分の健康状態について正確な知識を持ち、健康管理を続けるために、年に一度は必ず健診を受けましょう。

### 【クーポン券をご利用ください】

大江町国民健康保険に加入されている方で、平成28年4月1日において満39歳、満40歳、満45歳、満50歳、満55歳、満60～62歳（この年齢のうち一度の方については、1日人間ドック（一部がん検診含む）が2500円、ミニドック（一部がん検診含む）が2千円で受診できます。対象の方にクーポン券をお送りしますので、この機会にぜひ受診されてはいかがでしょうか。

### 【電話で受診をお勧めしています】

町の健診を申し込んでいない大江町国民健康保険加入の40～74歳の方に、町で委託している在宅保健師が、電話で健診受診のお勧めをしています。申し込みをお忘れの方や、これから受けてみようとお考えの方は、ぜひお申し込みください。

※健診のお申し込みは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで

### 町営西原住宅の入居者を募集します

- ◆所在地／大字藤田58612
- ◆募集戸数／B棟2号（2DK）
- ◆応募の条件／①世帯の月額所得が15万8千円以下であること、②現に同居し、また同居しようとする家族

がいること、③暴力団関係者は入居をお断りします、④町内の方を連帯保証人にできる方

◆家賃／月額家賃1万4500円～2万1700円（所得に応じて変化します）、共益費2千円（月額）

※敷金は家賃月額の3倍

◆募集期間／5月23日（月）まで

◆入居予定日／6月21日（火）

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62)2116まで

### がん患者医療用ウィッグの購入費用を助成します

がん患者の皆さんの就労や社会参加を応援し、療養生活の質がよりよいものになるように、ウィッグ（かつら）を購入した際、その費用の一部を助成します。

◆対象者／次の項目すべてに該当する方。①町内に住所のある方、②がんと診断され、がんの治療をおこなっている方、③がんの治療による脱毛のため、就労や社会参加などに支障がある、または支障が出る恐れがあり、ウィッグを必要としている方、④他の法令などに基づく助成などを受けていない方、⑤平成26・27年度において、大江町がん患者医療用ウィッグの購入助成を受けていない方

◆助成対象経費／平成27年4月1日以降に、医療用ウィッグを購入した経費

◆助成額／①助成対象者が平成28年4月1日から平成29年3月31日までに購入したウィッグについては、2万円またはウィッグ購入経費の2分の1の額のいずれか低い額、②助成対象者が平成27年4月1日から平成28年3月31日までに購入したウィッグについては、1万円またはウィッグ購入経費の2分の1の額のいずれか低い額 ※助成対象者1人につき、1回限りです。

◆申請窓口／健康福祉課保健衛生係

◆申請期限／平成29年3月末まで

◆申請に必要なもの／①脱毛の副作用があるがん治療を受けていることを証明する書類（お薬手帳、診療明細書、治療方針計画書、わたしのカルテ、がん診療パスなど）、②医療用ウィッグを購入したことを証明する書類（領収書など）、③申請者名義の通帳、④印鑑、⑤本人を確認する書類（運転免許証、健康保険証など）、⑥町が必要と認める書類

※代理申請や郵便による申請を希望する場合は、ご連絡ください。

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで

平成28年経済センサス活動調査を実施します

- ◆調査期日／平成28年6月1日現在
- ◆対象／すべての事業所・企業
- ◆調査内容／名称、所在地、経営組織、開設時期、従業者数、主な事業内容、売上および費用の金額、事業別売上金額など
- ◆調査方法／県知事から任命を受けた調査員が直接伺い、調査票を配

付・回収します。オンライン回答も可能です。支社などを有する企業には、国が調査票を郵送します。

※お問い合わせは、総務課情報システム係 ☎(62)2187まで

**在宅医療・介護連携支援室 たんぽぽ開設記念公開講演会**

- ◆「この町で暮らし続けるために どう生きるかを地域で支える」
- ◆講師／在宅ケア移行支援研究所宇

都宮宏子オフィス代表 宇都宮宏子氏

- ◆日時／6月22日(水) 18時
- ◆場所／寒河江市ハートフルセンター 多目的ホール
- ◆対象者／関心のある方ならどなたでも参加できます。
- ◆参加料／無料
- ◆お申し込みは、寒河江市西村山郡在宅医療・介護連携支援室たんぽぽ ☎(84)7107まで

**第33回 正調最上川舟唄 全国大会**



今大会では一般の競技に加え、宮城県亘理町えんころ節大会優勝者や栃木県佐野市越名舟唄大会優勝者、特別ゲストとして山形市出身の歌手「朝倉さや」さんがやってきます。町内団体では、ECHO男声コーラスの最上川舟唄男声合唱、大江中学生による最上川舟唄混声四部合唱、大江町祭事振興会MOVERによる舟唄のヒップホップダンスなど様々なアトラクションを実施する予定です。

ぜひご来場ください。また大会への参加者も募集しています。

- 日時：6月26日(日) 8時50分～
- 会場：東地区公民館
- チケット料金：前売券500円
- ※大会前日の6月25日までテルメ柏陵健康温泉館、大江町交流ステーションでお買い求めいただけます。
- 参加者募集：ご希望の方は、5月18日(木)まで大会チラシ裏面へ記入の上、大会事務局へお申し込み下さい。
- ※お問い合わせは、第33回正調最上川舟唄全国大会事務局(政策推進課内) ☎62-2139まで

**善意いただきました**



4月14日、おおえ昔語りの会より、3月に開かれた「とんと昔のつどい」の収益金の一部を町へ寄付していただきました。頂いた寄付金は、福祉分野で有効に活用させていただきます。

**編集 後記**

は二度と巡ってこない——そう考えると、一瞬一瞬の町の姿をとらえ、紙面に残していくことの大切さを痛感します。

(伊藤智治)

広報担当になって1年。昨年の今ごろを思い返すと、町内各所の満開の桜が鮮やかな印象とともによみがえります。しかし今年の桜の花は、まるで春風にはぎ取られるかのように、あっという間に散ってしまいました。地球の公転とともに季節がぐるりと一周して戻ってきた……などということはなく、ファイ

ンダー越しの町の風景も、昨年とはまるで違って見えるような気がします。暦が一周しても、全く同じ季節は二度と巡ってこない——そう考えると、一瞬一瞬の町の姿をとらえ、紙面に残していくことの大切さを痛感します。

# 思い出の

まいぞうひん

# My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



左沢駅開通当時、私の父親は旧制山形中学校に在学中でした。左沢線が全線開通するまでは寄宿舎での学生生活だったと聞いています。左沢線が開通してからは、汽車での通学となったそうです。その時の父親の思い出の記念絵はがき（5枚一組）を、私は大切に所蔵しています。



この写真は、大正11年4月24日に役場の前で撮影した左沢駅開通記念の写真です。およそ百年前のもので、羽織、袴、足駄の姿であり、大正時代の風俗を知ることができる貴重な写真だと思います。

(11区 岡田文治)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

3月21日～4月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
若原	根岸 春空	男	遼・未来
小見	今野 陽翔	男	智暁・優子

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
（若原）	秋葉 慎太郎
（寒河江市）	廣田 千佳子

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
材木	柏倉 千代江	(87)
伏熊	佐竹 まさの	(89)
柳川平	大場 タマヨ	(90)
葛沢	庄司 政子	(89)
望山	小林 知恵男	(93)
8区	清野 義美	(80)
13区	吉野 俊子	(76)
伏熊	佐竹 幸一郎	(81)
望山	小林 志げの	(91)
荻野	工藤 春男	(87)
9区	結城 民右エ門	(91)
橋上	柏倉 こまつ	(93)
13区	若松 直子	(86)
富沢	工藤 みさ	(83)
月が丘	鈴木 ムラエ	(96)
深沢	菊地 たけよ	(85)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,663人(-23)
男	4,280人(-11)
女	4,383人(-12)
世帯数	2,924戸(±0)

平成28年5月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。